

# 平成 25 年度 新発田・北蒲算数部 活動報告

部長 渡邊 芳哉

## 1 研究主題

子どもが主体的に取り組む算数授業

## 2 主題設定の理由

学習指導要領では、教科の目標として、学んだことを「進んで生活や学習に活用する態度を育てる」ことが重視されている。「進んで生活や学習に活用するためには、子どもが主体的に取り組むことが重要であると考えた。また、昨年までの研究主題を継承することにより、さらに研究を深めることをねらった。

## 3 事業の実際

○4月 第1回専門部会 研究テーマ

- ・活動計画立案、授業者の決定

○6月 第2回専門部会 講演会

- ・演題 「県小研テストなどにも対応できる算数の力をつける授業」
- ・講師 新潟市立新潟小学校 教諭 間嶋 雅樹 様
- ・会場 新発田市立東豊小学校

○6月～11月 部員の実践、自己研修

○11月 第3回専門部会 研究授業

- ・研究単元 4年「がい数とその計算」
- ・授業者 新発田市立御免町小学校 教諭 姫路 ゆかり
- ・指導者 新潟教育研究所 教育アドバイザー 本間 往徳 様
- ・会場 新発田市立御免町小学校

## 4 成果と課題

○成果

第2回の講演会では、①基礎基本の力、②思考力・判断力（問題をとらえる力）、③表現力（考えを書ける力）を育てるための指導方法について、具体的な話の中で確認することができた。

第3回の研究授業は、授業者と児童、指導者が昨年と同じだった。昨年度を知っているからこそ、その変容を実感することができた。指導者からは、「授業力の中身」や「教科書の上手な使い方」についても、分かりやすく的確なご指導をいただいた。

### ●課題

一番大切なことは、学んだことを日々の実践の中で生かしていくことである。それゆえ、「部会での研修の学びを、自己の実践の中で還元できたかどうか」を確認できなかったことが課題である。

